



平成 30 年 12 月 19 日

各 位

会 社 名 株式会社ヤマト
代 表 者 名 代表取締役社長執行役員 町田 豊
(コード番号：1967 東証第 1 部)
問 合 せ 先 取締役専務執行役員管理本部長 藤原昌幸
(TEL 027-290-1800)

業務及び資本提携に関するお知らせ

株式会社ヤマト（以降「当社」）は平成 30 年 12 月 7 日、総合建設業の小林工業株式会社（以降「小林工業」）との間で業務及び資本提携合意書を締結いたしましたのでお知らせいたします。

1. 業務及び資本提携の目的

—地方建設業の業態変革の取組み—

当社と小林工業は、市場の期待に応えた建築製品の提供は、設計・施工・資産管理をお客様にワンストップで購入していただく事が合理的であり、お客様の付加価値を高める事を目指して経営資源の共有を行う業務及び資本提携合意書を締結いたしました。当社と小林工業は、各々が保有する技術、ノウハウ、データベース、サプライヤーを共有活用する事で、品質保証、最適納期、コストの合理化を図るものであります。

具体的には、以下のとおりであります。

- ① お客様サポートは、コンペによる調達を基本とし、企画、計画段階で事業収支、ボリューム、仕様、納期等のサポートを行う。
- ② 供給者としては、業務のフロントローディングを基本に生産プロセスを改革する。また、技能労働者の減少への対応は、鉄骨製作、配管加工の工業化を進め少人化を図る。
- ③ ツールの活用
当社と小林工業が共有する顧客情報、生産情報のデータベース、コンピューターシステム、CADシステムの活用で市場に対応する。

2. 業務及び資本提携の内容

- ① 当社と小林工業は、技術とものづくりで互いに協力し、目指すべき建設産業のバリューチェーンを共同して構築することで、顧客の期待（最適な品質、適切なコスト、適時の納期）に応える。
- ② 当社と小林工業の新しいビジネスモデルDBO（設計施工一括方式）を基本とした事業活動の現場を当社と小林工業が単独または企業体として実践することで、様々な顧客要求に応えられる体制を実現する。

- ③ 当社と小林工業は、設計・施工における資機材の調達、サプライヤー情報を共有する。
- ④ BIM（ビルディング インフォメーション モデリング）の共同開発やプレ加工工場の活用、特許技術の相互提供・有効活用等を通じて、生産性向上の迅速化を実現する。
- ⑤ 当社は、小林工業の普通株式 100,000 株（発行済株式数の 5.26%、取得価額及び取得時期は今後協議の上決定）を取得し、小林工業は、当社が小林工業株式取得後合理的期間内に当社が小林工業普通株式 100,000 株を取得するのに要した資金を上限額として市場内買付けの方法により当社株式を取得する。

3. 業務提携先の小林工業の概要

社 名	小林工業株式会社
本社所在地	群馬県前橋市表町二丁目 11 番 8 号
代 表 者	代表取締役社長 小林 要一
創 業	1880 年（明治 13 年）
設 立	1944 年（昭和 19 年）
資 本 金	95 百万円
決 算 期	5 月
売 上 高	5,195 百万円
従 業 員	69 名
主な事業内容	建築・土木工事請負及び建築物の設計・施工・工事管理、不動産売買など

4. 今後の見通し

本件が平成 31 年 3 月期の業績予想に与える影響は、ほとんどありません。

以 上